

事務事業マネジメントシート(令和 6年度実績と令和 7年度計画)

令和 7年 9月 4日更新

事務事業名		国県道等整備負担事業			<input type="checkbox"/> 安全・安心に暮らせるまちづくりの推進 <input type="checkbox"/> 「こどもまんなか社会」の構築 <input type="checkbox"/> 産業の共生による市経済の持続的発展			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健幸		所属部	都市建設部	課長名	石原 光朗
	施策	21	計画的な道路の整備		所属課	建設課	担当者名	白濱 ひろ子
	業務分野	64	計画的な道路の整備		所属班	維持管理班	(内線)	5256
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	地方財政法	
	一般	8	2	3	10056			
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 6年度で終了 <input type="checkbox"/> 6年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化・関係者からの意見や要望を含む)	・地方財政法第27条(都道府県の行う建設事業に対する市町村の負担金)に基づく負担金支払い事務 ・国・県道は市町村内の住民の主要な生活道路となるが、県では地元住民の要望が聞こえにくいことから、地元住民と密に接している市町村より地元の声を聞きその要望に応えようというものである
【業務の流れ】	県への要望箇所の調査・取りまとめ、協議、県より負担金の納入依頼、支払い
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金

(1)事務事業の振り返り・計画

①6年度事務事業の成果・実績

県への要望箇所(国・県道、河川等)を調査し取りまとめ、協議を行った。また、県が施工した国県道等の整備に伴う地元負担金を適正に処理した。

②7年度計画(次年度に計画している主な内容)

県への要望箇所(国道、県道、河川等)の調査・取りまとめ、協議を行う。県に負担金を支払う。県道大津植木線開通式を県と合同で開催予定。

③予算の主な増減の理由

県の整備事業拡充に伴う負担金の増

成果指標

ア 県要望に対する施工箇所数

(単位)

本

データ取得方法

(2)成果指標・総事業費の推移

成果指標	単位	4年度	5年度	6年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込
ア	本	2	1	6	1	6	6	6	6
事業費	国庫支出金	千円							
	都道府県支出金	千円							
	地方債	千円							
	その他	千円							
	繰入金	千円							
	一般財源	千円	1,200	900	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200
(A) 事業費計	千円	1,200	900	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	

(3)評価の総括(成果向上の余地・事業費削減の余地)

<成果向上の余地>

市民の意見を集約し、年1回単県要望として要望を行っている。事業決定の判断は県であるため成果向上の余地はない。

<事業費の削減余地>

市が要望した事業を県が施工し、その施工費に対する負担金であることから削減の余地はない。

(4)今後の事業の方向性

廃止 縮小 事業のやり方改善 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)